令和６年度東京都立中央ろう学校　高等部シラバス

学　　部	高等部	学　　年	4	単位数	3
教科	英語	グループ名	SG1		
科目等名	英語コミュニケーションⅠ				
ねらい	平易な英文を読み、内容の大枠を理解し、情報や考え方などを整理できる能力を養う。既習事項をふまえて、簡単な事柄を英語で表現できる力を養う。				
担当教員	大和田　章				
年間授業時数	105 時間				
使用教科書	My Way English Communication Ⅰ				
副教材等	My Way English Communication Ⅰ　Work Book				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫配慮事項
前期	4	Starter Proverb Around the World	3 6	・中学既習の文法事項を復習する。 ・世界のさまざまなことわざについて知り、ことばと文化のつながりについて考える。【ことわざ、比較文化】 ・現在・過去、進行形、　SVO(that)～の表現について理解を深める。	視覚教材や板書を工夫しながら、個々の生徒の理解度に合わせて指導する。
	5	Iwago Mitsuki -An Animal Photographer-	9	・岩合光照さんへのインタビューを通して、自然や動物と共生することの大切さについて学ぶ。【自然、共生】 ・助動詞＋受け身の表現ついて理解を深める。	
	6	Sending Canned Mackerel to Space	10	・高校生が宇宙食を開発した経緯を学び、日本の文化を発信することと高校生の可能性について考える。【若者、食文化】 ・動名詞、不定詞の表現ついて理解を深める。	
	7	Messages from Winnie-the Pooh	9	・「クマのプーさん」シリーズを通して、作者が伝えようとしたメッセージについて考える。【芸術、異文化】 ・現在完了、現在完了進行形、過去完了の表現 C	
	9	Endangered Languages	12	「消滅の危機にある世界言語について学び、現代社会の要因やその解決策について考える。【ことば、比較文化】 ・関係代名詞、 It is...to～　の表現ついて理解を深める。	
後期	10	A Wheelchair Traveler	10	・三代達也さんの世界旅行経験から、バリアフリーな共生社会を実現することについて考える。【異文化、生き方、共生】 ・分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is… that 節の表現の理解を深める。	視覚教材や板書を工夫しながら、個々の生徒の理解度に合わせて指導する。
	11	The Fugees	12	・難民の子供たちのサッカーチームの話から、難民や移住者を受け入れて共生していくために重要なことは何かを考える。【平和、共生、スポーツ】 ・関係副詞、比較の表現の理解を深める。	
	12	Avator Robots	10	・吉藤健太郎さんによる「分身ロボット」から、科学技術開発の魅力と社会貢献について考える。【科学、生き方、共生】 ・if 節、仮定法過去の表現ついて理解を深める。	
	1	Kadono Eiko and the Power of Imgination	10	・児童文学作家である角野栄子さんの生き方から、自分の生き方について考える。【人物、生き方】 ・SVOO(O=how to～)、SVO to 不定詞、 SVOC (C=動詞の原形/現在分詞）の表現ついて理解を深める。	
	2	SDGs	10	・SDGｓに関する問題と解決策の事例を学ぶ。【地球環境】 さらにどのような課題があるのかを調べ、自らが取り組める行動について具体的に考えたり、発表したりする。	
	3	Reading	4	物語文を鑑賞する。	

３　評価の観点及び評価方法

評価は、次の３つの観点から行う。

知識・技能	学んだ英語表現を用いて文章を読んだり、簡単な英文を書いたりすることができるか。目的や場面、状況に応じて、適切に活用する技能を身に着けているか。
思考・判断・表現	外国語で書かれた情報や考えの概要や要点、書き手の意図を理解しているか。目的や場面、状況に応じて適切に表現することができるか。
主体的に学習に取り組む態度	授業に積極的に参加し、言語活動を行っているか。授業や家庭学習において、学んだことをノートやプリントなどに書き留めているか。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。（評価方法や評価のポイント）
（１）定期考査（２）小テスト（３）ノート作り（４）授業に取り組む態度、プレゼンテーション

令和６年度東京都立中央ろう学校　高等部シラバス

学　　部	高等部	学　　年	４年	単位数	3
教科	数学	グループ名	SG1		
科目等名	数学Ⅰ				
ねらい	・数と式，図形と計量，集合と論証，二次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・原則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 ・数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ・習得した知識，技能の活用を通して，数学の良さを認識し数学を積極的に活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。 ・応用問題にも積極的に取り組み，より高い実力を育成する。				
担当教員	鋤田　嵐士				
年間授業時数	１０５				
使用教科書	実教出版　新編数学Ⅰ				
副教材等	実教出版　アクセスノート　数学Ⅰ　新課程版				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫配慮事項
前期	4	式の計算	8	単項式や多項式、整式について理解し，展開や因数分解等の計算処理の方法を身に付ける。 ・整式とその加法・減法　・整式の乗法	・板書、掲示物、電子黒板等の視覚的に理解しやすいものを積極的に活用する。 ・学習グループの実態に合わせて、扱う例題、演習問題を工夫する。基礎基本の定着を図るとともに、応用問題も取り扱う。 ・単元ごとに確認テストと解説を実施し、知識の確認と定着をはかる。
	5	式の計算 実数	10	実数の概念を理解し，根号を含む式の扱いができる。 ・因数分解　・実数　・根号を含む式の計算	
	6	1次不等式	10	不等式の意味や性質を理解し，1次不等式を解くことができる。 ・不等号と不等式　・不等式の性質　・1次不等式	
	7	集合と論証	9	集合と命題に関する基本的な事項を理解する。 ・集合　・命題と条件　・逆、裏、対偶	
	9	2次関数とそのグラフ	11	関数とそのグラフの概念，2次関数の性質や特徴を理解し，グラフの概形を表現することができる。2 次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・関数とグラフ　・2次関数のグラフ　・2次関数の最大と最小	
後期	10	2次関数とそのグラフ 2次方程式と2次不等式	10	与えられた条件からその2次関数を定めることができる。 ・2次関数の決定　・2次関数のグラフと2次方程式	
	11	2次方程式と2次不等式	10	2 次関数のグラフを利用して 2 次方程式や 2 次不等式の解について理解を深め，解くことができる。 ・2次関数のグラフと2次不等式	
	12	三角比	9	正接，正弦，余弦の意味や三角比の相互関係などを理解し，それらを利用することができる。 ・三角比　・三角比の性質　・三角比の拡張	
	1	三角比と図形の計量	9	正弦定理，余弦定理について理解し，それらを平面図形や空間図形に活用することができる。 ・正弦定理　・余弦定理	
	2	三角比と図形の計量 データの分析	11	三角比を用いた三角形の面積公式について理解し，それらを平面図形や空間図形に活用することができる。 ・三角形の面積　・空間図形の計量 ・度数分布　・代表値　・四分位数と四分位範囲	
	3	データの分析	8	データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を理解し，それをもとに事象の特徴を表現することができる。 ・分散と標準偏差　・データの相関　・データの外れ値　・仮説検定の考え方	

3　評価の観点及び評価方法

評価は、次の３つの観点から行う。

知識・技能	・数と式、図形と計量、2 次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	・学習や問題解決に向けて主体的に取り組む態度、数学の良さを認識し数学を積極的に活用する態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断する態度を養おうとしている。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。(評価方法や評価のポイント)

（１）定期考査や確認テストの実施（２）課題に対する取り組み方（３）授業態度、出席状況

令和６年度東京都立中央ろう学校　高等部シラバス

学　　部	高等部	学　　年	４	単位数	２
教科	国語	グループ名	ＳＧ１		
科目等名	現代の国語				
ねらい	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
担当教員	石川　紗央莉				
年間授業時数	７０時間				
使用教科書	東京書籍「新編現代の国語」（現国 701）				
副教材等	新編現代の国語　学習課題ノート（準拠ノート）、常用国語便覧、国語便覧確認ノート、級別漢字学習、自作プリント				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫配慮事項
前期	4	自己を見つめる	5	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	電子黒板やホワイトボード等を活用する。拡大提示した本文に直接傍線を引く等、学習内容が理解しやすくなるように、視覚支援に努める。
	5 6	他者に出会う	14	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	
	7	言葉と生活１	4	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	
	9	視野を広げる	8	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	
後期	10	社会と関わる	8	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	
	11 12	言葉と生活２	13	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	
	1 2 3	世界とつながる 未来に目を向ける	18	【学習内容】文章の読解、語彙の用法、表現 【ねらい】語彙の拡充、読解力および言語による表現力の育成	

３　評価の観点及び評価方法

評価は、次の３つの観点から行う。

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身についたか。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。
主体的に学習の取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうと努めているか。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。（評価方法や評価のポイント）
（１）定期試験の実施（２）授業中に出す課題への取り組み方（３）長期休業中の課題や課題テストの実施（４）授業態度